

企業の社会的責任(CSR)への取り組み

大阪ガスグループCSR憲章の制定

大阪ガスグループでは、お客さま価値の最大化を第一に、株主さま、社会、従業員など全てのステークホルダーの価値をともに高めていく「価値創造の経営」を基本理念として定め、この価値創造の経営を追求していくことがCSR(企業の社会的責任)活動の基本と考えています。CSRの理念及びCSRに関する取り組み方針を明確化するため、2006年4月に「大阪ガスグループCSR憲章」を制定しました。2006年7月には、CSR推進体制としてCSR推進会議及びCSR委員会を設置するとともにCSR活動を統括する役員(CSR統括)を置き、適切かつ積極的なCSR活動に取り組んでいます。

社会価値の向上に向けては、地球環境に優しい天然ガスの普及と利用の高度化を通じて環境負荷を軽減するとともに、法令など遵守(コンプライアンス)と情報公開を徹底し、経営の透明性を高めていきます。併せて、地域社会活性化に寄与する企業活動を通じて、安心して暮らせる社会づくりに努めます。これらの取り組みは、毎年「CSRレポート」にて発表し、CSR委員会の定期開催、社内各組織への環境目標の設定などを通じて、その実効性を高めます。



詳しくは「CSRレポート」をご参照ください

大阪ガスグループCSR憲章

大阪ガスグループは、お客さま価値の最大化を第一に、公正で透明な事業活動を通じて、株主さま、社会、従業員などの全てのステークホルダーの価値をともに高めていく「価値創造の経営」を基本理念としており、この価値創造の経営を実現することが、当社グループのCSR(企業の社会的責任)を全うすることと考えています。

企業の社会的責任を全うし、大阪ガスグループが持続的な発展を図っていくため、ここに「大阪ガスグループCSR憲章」を定め、当社グループの役員及び従業員の行動の指針とします。

経営トップをはじめとする各組織の責任者は、本憲章の趣旨を体し、率先垂範に努めます。また、法令違反などの問題が発生したときは、経営トップをはじめとする各組織の責任者は、自ら問題解決にあたり厳正に対処します。

I. お客さま価値の創造

大阪ガスグループは、天然ガスをコアとするマルチエネルギーの安定供給、保安の確保及びサービスの向上を通じて、お客さまの快適な暮らしとビジネスの発展に貢献していきます。併せて、社会的に有用な商品・サービスの提供により、新しい価値の創造に挑戦し、お客さまとともに進み発展し続ける企業グループを目指します。

II. 環境との調和と持続可能な社会への貢献

地域及び地球規模の環境保全は、エネルギービジネスを中心に事業展開する大阪ガスグループにとって極めて重要な使命であります。大阪ガスグループは、我々のあらゆる活動が環境と深く関わっていることを認識し、その事業活動を通じて環境との調和を図り、エネルギーと資源の効率的利用を実現することによって、持続可能な社会の発展に貢献します。

III. 社会とのコミュニケーションと社会貢献

大阪ガスグループは、自らの企業活動を世の中に正しく理解していただくため、情報を積極的に公開し、経営の透明性を高めるとともに、社会とのコミュニケーションを推進します。また、良き企業市民として、地域社会に貢献するよう努めます。

IV. コンプライアンスの推進と人権の尊重

大阪ガスグループは、全ての役員及び従業員が、コンプライアンスを確実に実施することで、社会からの信頼を得る健全な企業グループを目指します。コンプライアンスとは、法令遵守だけでなく、社会の一員としての良識ある行動までを含む幅広いものと捉え、お客さま、取引先さまなど全ての人々との公正な関係を維持し、人権の尊重に努めます。

V. 人間成長を目指した企業経営

大阪ガスグループは、雇用の確保を図るとともに、従業員の個性と自主性を尊重し、仕事を通じて人間的成長を図ることのできる企業を目指します。また、常に研鑽と啓発に努め、お客さま、株主さま、社会の期待に応える新しい価値を生み出すように努力します。従業員と会社は、相互に信頼感と緊張感をもって、グループ各社の健全な成長をともに高めます。

コンプライアンス

企業としての社会的責任を果たすためには、その基盤であるコンプライアンスを確実に実施することが何よりも大切であり、2000年に「大阪ガスグループ企業行動基準」を定め、当社の役員・従業員はもとより関係会社の役員・従業員を含めた当社グループの全員に対し、研修や啓発を通じて法令などの遵守を周知・徹底しています。推進体制として、CSR委員会及びコンプライアンス部会を設置するとともに、推進の専任部署としてコンプライアンス部及び内部通報制度であるコンプライアンス・デスクを設置しています。こうした体制のもと、「法令・規程類を知る」、「守る風土・違反を起こさない仕組みを構築する」、「監視・モニタリングを強化・充実する」の3つの活動を重点に、コンプライアンスのPDCAを着実に実施することにより、コンプライアンスの体質化を目指します。

大阪ガスグループ企業行動基準の骨子は以下のとおりで、グループ内への周知・徹底を図っています。

大阪ガスグループ企業行動基準

1 良き企業市民としての行動基準

- (1) 人権の尊重
 - 人権を尊重し、お客さま・従業員などを人種・信条・性別・社会的身分・門地などによって差別しない。
- (2) 環境保全への配慮
 - 事業活動のあらゆる場面で環境への配慮を行い、環境目標の達成に向けて取り組む。

2 製造・供給活動などにおける行動基準

- (3) エネルギー事業者及びその他事業者としての責務
 - お客さま満足第一をモットーに、お客さまのご要望に迅速かつ的確に対応する。ガスをはじめとするエネルギーを安心して快適にお使いいただくために、保安品質を高め、専門家として「基本に忠実な仕事」を徹底し、お客さまの信頼を得るよう努める。
 - 事業に関する法令などを必ず遵守する。
- (4) 製品などの安全性の確保
 - お客さまの立場に立って、製品の製造・販売、請負工事などの安全性を最優先に確保するとともに、事故が起こった場合には、直ちに原因を追究して再発防止に努め、回収・危険告知など適切な措置をとる。

3 取引活動における行動基準

- (5) 独占禁止法の遵守
 - 独占禁止法を遵守することはもとより、取引活動に際しては常に公正な行動をとる。
- (6) 公正な取引の実施
 - 取引は公正かつ関係法令を遵守して行い、取引の相手方より優越的な地位にあるとして、それを不当に利用しない。
- (7) お客さまとの応対
 - お客さまに誠意をもって対応し、お客さまとの約束を守り、お客さまとの信頼関係を築き、深める。

- (8) 関係先・取引先との交際
 - 関係先・取引先との交際は、法令に従い節度をもって良識の範囲内にとどめる。

4 情報管理における行動基準

- (9) 情報の取扱いと公開・開示
 - お客さま情報などの漏洩がないように適切に情報を管理する。また、経営に関する情報などは適時・適切に公開・開示する。
- (10) 情報システムの取扱い
 - メールやインターネットなどの情報システムは、ルールに沿って適正に使用する。
- (11) 知的財産などの取扱い
 - 他者の知的財産を侵害しないと同時に、自社の知的財産を適切に管理する。

5 職場における行動基準

- (12) 安心して働ける環境の整備
 - 常に相手の立場に立って行動し、お互いが快適に働ける職場づくりに努める。
- (13) 雇用と処遇など
 - 雇用形態にかかわらず、処遇などについて不合理な差別的取扱いをしない。

6 社会に対する行動基準

- (14) 反社会的勢力との関係遮断、利益供与の禁止
 - 反社会的勢力との取引や利益供与は絶対禁止とする。
- (15) 適正な納税
 - 適正に納税する。

環境への取り組み

製造所や事務所ビルでのエネルギー資源の効率的利用の推進と再生資源の利用促進などにより、大阪ガスグループの事業活動における環境負荷の軽減を図っています。大阪ガスでは、2007年にISO14001の全社統合を行い、効果的な運用による事業活動でのさらなる省エネ・省資源を推進しています。また、2009年3月期には、全ての国内関係会社において、環境マネジメントシステムを構築し、認証が完了しました。

国のエネルギー政策の方向性にも沿った、環境に優しい天然ガスの普及をはじめ、コージェネレーションシステムやガス空調システムなどの高効率機器・システムの普及促進とともに、省エネ設備導入の際のお客さまのコスト負担を軽くするファイナンススキームをご用意するなど、大阪ガスグループの製品・サービスの提供を通じて、お客さま先でのCO₂排出量削減など環境負荷の軽減にも積極的に取り組んでいます。

さらに、地域及び国内外における環境保全活動にも積極的に取り組んでいます。具体的には、和歌山県の推進する「企業の森・労働組合の森」事業に参画し、労働組合とともに世界遺産熊野古道に近接する山地にて森林保全活動に取り組んでいる他、泉北・姫路の両製造所にて、地域の植生に配慮した緑地形成や、自治体・研究機関と連携した希少種保護への協力などの生物多様性保全を推進しています。

こうした環境活動や環境パフォーマンス・データの公表などが評価され、第5回カーボン・ディスクロージャー・プロジェクトにおいて「気候変動関連情報開示先進企業」に選定されました。

地域及び国際社会への貢献

大阪ガスグループの事業活動は、地域の皆さまの生活に密着しています。同時に、主な原料である天然ガスを介して、東南アジア・太平洋地域を中心とした国際社会との太い絆を形成しています。そこで、私たちは「企業市民」「地球市民」としてCSRへの取り組みを一層推進するため、2007年6月に国連グローバル・コンパクトに参加しました。

大阪ガスグループは、1981年から、企業ボランティア活動“小さな灯”^{ともしび}運動を展開しています。「社員一人ひとりが、地域社会を愛する良き社会人となる」ことを目指して、社員の善意や自発的な意思を尊重し、地道ながらも継続的な活動を推進してきました。こうした“小さな灯”^{ともしび}運動の精神を土台に、地域の皆さまの生活に密着した企業として、環境教育や、「いただきますで育もう」をスローガンに進めている食育活動など、大阪ガスならではの多様な社会貢献活動に取り組んでいます。さらに、小学校高学年を対象とした副教材「なぜ?なに?食育Book」の配布、教育行政担当及び教員の皆さまを対象とした説明会などを開催し、食育に注力しています。また、環境教育においては、独自の「エネルギー環境教育」プログラムを開発し、社員及びOBが講師として小中学校を中心に赴き、出張授業を実施しています。この活動は、希望される学校も増加し、2009年3月期は650回を超える出張授業を行いました。

また、(財)大阪ガスグループ福祉財団では、活力あふれる長寿社会実現への寄与を目指し、高齢者を対象とした福祉活動や研究・調査への助成を行うとともに、高齢者の健康の維持・増進を目的とした事業を実施しています。

国際社会への貢献活動としては、1992年に設立した(財)大阪ガス国際交流財団を通じて、天然ガス産出国である東南アジア・太平洋地域の教育機関に対し、天然ガス関連技術・環境技術に関する研究助成と奨学金支給などの人材育成事業を実施しています。

SRIインデックスへの組み入れ状況

以上のようなCSRへの取り組みの結果、2009年3月末時点で、当社は、次のSRI(社会的責任投資)関連インデックスに採用されています。

- ECPI Ethical Index Global (E. Capital Partners Indices)
- モーニングスター 社会的責任投資株価指数
- KLD Global Climate 100 INDEX (KLD Research & Analytics)
- Ethibel Sustainability Index
- Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index